

※1回WSのふり返し

- 「市民参加」についてのギロン必要
行政と市民の考え方のズレ
最初に修正共有すべき

行政側からの総かきをまず出して
(問題点、反省点など)

市民参加基本方針
に関して

- 条例の背骨を入れるのは市民

策定スケジュールについて

□ WSとパブコメの間に意見交換会

▣ 案づくりの場に市民の参加を

▣ 自治基本条例の検討の時と同じ。
行政サイドで骨子・案がまとめられている。
この時の問題点をふまえた上でのプロセス
検討を。

▣ パブコメは意見交換会の内容を
投げかけるのか？ ← □
条例案づくりに市民が関与できないが

▣ WSの位置づけ、使い方は？
これまでのやり方と変やらないのでは。 ←
行政とのギロンの場(WS後)がない。
話し合う期間短すぎる。短らく的。

□ WSの各回のテーマ設定
についても、話し合いの中
で出してもらいたい。

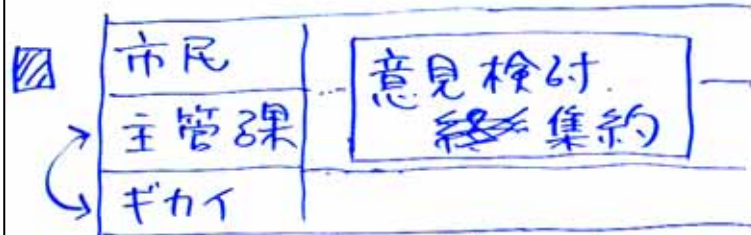
自治基本条例の「市民参加」
実現できるのか。
運用面も大事

↓
□ ギカイへの案をつくるのは市長の
役割(市民参加は想定しない)

□ 確かに期間短い印象

□ これまでの検証は
ぜひ提示したい。

□ 必ずしもH24.4にこだわる
ことはない。
十分なギロンが大切



スケジュールの修正案を話し合いたい。

意見交換会についても市民が主体的に関わりたい。
行政と市民の意見交換は双方向が基本。

どうやれば市民参加が担保されるのか。
考え方のちがいを正す必要あり。
行政が考え方を要するべき。

「市民参加」はWSとパブコメだけか。
市民が主体的に行えるものとは思えない。
スケジュール、中身から話し合いたい。

ファシリテーターは問題の根本を叩き出し、中立の立場で進めてほしい。

市民参加を前提としたスケジュールについて、まず話し合っただろうか。
(自治条例16条に於いて)

市民の意見を最大限反映するというスタンスはダメ。
新しい進め方、プロセスの検討が必要。

市民主体で決定したことが、どこまで反映されるのかを含めたスケジュールをWSで検討してほしいと思う。

市民は最後まで関わってほしい。ということだと思ふ。
状況の分からない市民にも分かりやすくなる

基本方針の検証をまず行政が提示すべき。
(市配布資料 9 和久氏)

WSの基本は、拡散的に多様な意見を出すことが基本では。

WSとは何か。(位置づけ)
本当の市民参加とは。

市民が出した案と行政提示の案が全く違っているのが困る。
市民意見をきちんと反映できる
仕組みを担保してほしい。

市民が条例策定にどう関わる
ことができるのか。
条例案策定に関わることが
できるのか。

WSスケジュール

なぜ市民が参加できる方法かとれないのか。

←案文の素案検討の段階で、
市民が関わることは考えられる。

市民の意見を一方的に受けるだけでなく、
行政もこれまでの経験をふまえて、
ギロンすれば良いものができると思う。

職員へのWSへの参加。対話型-市民としてギロン
早ければ3回から、ギロンが進み始めれば呼び出し

市民がこれまで積み上げてきた成果を
無視するやり方になっている。
それを変えるためには、行政が市民参加
ができるスケジュールを示すべき。
(市民は充分知っている)

最初の案についても市民と話し合い、
内容をギロンできるのでは。
真剣な市民がいるとはチャンス。

前回の意見をふまえたスケジュール
になっていない。
WSという言い方を改めるべき。
役割(ファシリテーター)を改めるべき。

最終の合意の段階で市民の意見を言う

(納得)場がないのはおかしい。
納得できるものとするべき。
市民参加に係る市長の理解を示して
ほしい。

4

☑ H15～基本方針の検証が
なぜ出でたのか。

☑ 市民参加のあり方、全面的な
見直し必要。

☑ 策定に係る制度の見直しを
やってもらいたい。

☑ 市の具体的な考え方、進め方を
詳しくスケジュール表に示してほしい。

☑ (配布資料 No.9)について、ぜひ行政は
提示を。

☑ これまでの経緯よく分かっていない立場では、
どこが問題か、良かったところは何か、
具体的に出して、意見を言ってもらいたい。
なかなか意見出しにくい

☑ 指針さえ、充分にできなかった原因、理由
の検証は必要。
どのような検証がなされたのか。

☑ 案から市民意見を削いだ理由を、
関った担当者に直接聞くのは

☑ このギロとキロンとを報じがききで
連載してはどうか。

HPへのせめはよいと思うけど、
9/13